

2018年9月18日

北海道胆振東部地震発生による
BOB会北海道支部会員（北海道在住）の被災状況について

BOB会 北海道支部
支部長 青島繁夫

9/6（木）3時8分、胆振管内厚真町内を震源に北海道史上最高の震度7の地震が発生しました。15日の報道では震源地を中心に全道で死者41名、負傷者681名、建物の全壊と半壊447棟、一部損壊1,071棟の被災です。又、現時点で観光客の取消等で観光関連の経済損失が292億円との報道です。不幸にも亡くなられた方々のご冥福と負傷及び家屋が損壊されたこととお悔み申し上げる次第です。支部会員の在住が多い札幌市10区では南区で震度4、東区で震度6弱と震度の地域差がありました。又、北海道295万全戸が停電するブラックアウトと断水によるライフラインの混乱。物流乱れとスーパー等の停電休業により生活用品と食品の品薄により不自由な数日間でした。

地震発生から約2週間が経ち、BOB会北海道支部として北海道在住会員の被災状況の確認をすべく9/12～15にかけて支部連絡網班長から電話と一部メールで被災確認を行いました。

◆被災状況の確認会員について

- ・北海道支部会員数：213名
- ・内、北海道在住の会員数：206名（他、道外在住会員が7名）
- ・9/15時点での被災確認の会員数：198名
（連絡時不在の会員へは被災確認の旨と被災があれば班長へ返信の留守電メッセージ確認を含む）
8名の会員は不在などで複数回電話したが出なかったため確認が取れません。（留守電機能なし）

◆被災確認状況について

- ・札幌市豊平区に在住の会員の自宅が損壊を受けました。
自宅庭の一部が陥没、自宅基礎が損傷し修繕が必要。但し怪我はなく屋内損傷はなしです。
（その後17日に、当会員宅へお見舞いに伺いました。）
- ・同区に在住の会員より、怪我や自宅の損傷はないが、奥様の実家が被災したとの事です。
- ・上記以外の確認が取れた会員及びご家族に地震による怪我はありません。
- ・上記被災以外の会員の居住宅及び家財道具の損壊はなし、大型家具などの倒れもなかったとの事です。ただほぼ大多数の会員宅では食器類の落下損壊は発生の報告がありました。
- ・すべての会員が北海道全戸停電のブラックアウトにより不自由な生活でした。
極一部地域で地震発生の夕方に通電復帰したが、多くは2～3日目に通電復帰したので、地域差がありました。
- ・特にマンション在住の方は停電でエレベーターの停止と水道水のポンプアップ不能による飲用・生活用水の給水を高層階へ階段で運ぶ苦労があったとの事です。
- ・水道は断水した地域と断水がなかった地域と地域差がありました。

以上現時点での被災状況の確認では、会員・ご家族の怪我がなかったことが幸いです。

現在、電量確保の目途がつき計画停電は回避されましたが、引き続き節電が呼びかけられています。但し、北海道電力の最大量発電の苫東火力発電所（苫小牧市）の完全復旧が11月見込みであり、これから冬期間の電力需要期に向けての電量不足危惧が報道されています。

以上